



## 臼杵・深江 県道沿いの擁壁

⑤リュウグウノツカイの横に「コロナにまけるな」などのメッセージが添えられている④一夜にして現れたアマビエの巨大アート。高さ約6メートル。臼杵市深江



# 巨大アマビエ コケアート

【臼杵】臼杵市深江で県道沿いの擁壁にコケを削って描かれた妖怪「アマビエ」がお目見えした。高さからげ以上もある突然の巨大アートに地域住民はびっくり。新型コロナウイルスの早期収束と地域へのエールが込められた作品は、SNS（会員制交流サイト）上で広まり話題となっている。

**新型  
コロナ**  
描かれているのは疫病を  
払うとされる「アマビエ」  
（縦、横約6メートル）と「リュウグウノツカイ」（縦約3

メートル、横約5メートル）。「手洗いうがいを忘れずにコロナに負けるな」「フアイト」などのメッセージを添えている。住民によくと、8日朝に気付いたという。仕掛け人は上浦・深江振興協議会の薬師寺正治会長

**地元振興協「早く日常に」願い  
一晩で制作**

2020年6月14日付 大分合同新聞14面

（画像をカラー処理しています）

臼杵市深江で県道沿いの擁壁にコケを削って描かれた妖怪「アマビエ」がお目見えしました。

①描かれているアマビエとリュウグウノツカイの大きさは？どんなメッセージが添えられていますか？

②描く作業はどのような方法で行われましたか？

③薬師寺さんがこの巨大アートに込めた思いは何ですか？

④絵を見た地域の人は何と感じていますか？